

- 障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
- ケアホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地 TEL・FAX 087(888)2557

- 発行／社会福祉法人ポムドパン
- 発行日／2013年5月31日



4月2日、高松市で行われた世界自閉症啓発デーのパレードの様子です。今年は県庁から商店街を通り、市役所までパレードしました。多くの人に自閉症について正しく理解して頂き、自閉症や障害を持った人が少しでも暮らしやすい社会になればと願っています。

2013自閉症啓発デーについて

4月2日は、国連が定めた「World Autism Awareness Day(世界自閉症啓発デー)」
2013年、日本では24都道府県50か所以上、世界では90カ国7,000か所以上のランドマークが自閉症のシンボルカラーであるブルーに染まりました。

東京が誇るランドマーク「東京タワー」でもブルーのライトの点灯式が実施されました。
当日は、厚生労働大臣のほか安倍総理がかけつけるサプライズもあったようです。

各地での自閉症への理解を深めるための取り組みはたくさんの企業&協賛者の賛同を得て成功に至ったようです。

京都においても来年4月2日は、京都タワーにライトアップする予定だそうです。成功に向けて今年はライトアップの募金活動も実施して計画を進めているようです。

香川県の取り組みは、商店街のパレード、県庁ギャラリーでの作品展示が行われ、また高松市は、庁舎から懸垂幕のメッセージで広報を行っていただきました。

自閉症の人が(障害のある人が)安心して暮らせる社会になるには課題がたくさんあります。

このような機会を活かして、自閉症をはじめとする発達障害のある方々の理解が進み、住みやすい社会に少しでも近づくことを願います。

一人でも多くの方々のご協力とご理解をお願い致します。

管理者 松原 正子

ウインドヒルの主な行事報告

施設交流ボウリング大会



2月22日、丸亀スターボールで行われた施設交流ボウリング大会にウインドヒルの利用者が参加しました。ウインドヒルでは定期的にボウリング行事を行い、日々腕を磨いてきました。日頃の成果を発揮し、見事、小山・藤岡・松原チームが男子団体2位になりました。

地域交流棟運動会



2月21日、地域交流棟運動会を実施しました。当日はフライングディスクや頭に紙皿を乗せリレー競争『カップうさぎレース』、股くぐりレースで利用者と支援員が一緒に大いに盛り上がりました。

ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場



5月15日、善通寺市民体育館で行われたナイスハート・ふれあいのスポーツ広場に参加しました。保護者の方も多数一緒に参加され、ロープ送り競技やリバース大玉転がし競技、風船バレー競技などを行いました。みんなで気持ち良い汗をかき笑顔が絶えない一日でした。

水仙ロード散策



3月26日、地元三谷町のリフレッシュクラブの皆さまと綾川町の水仙ロードの散策に行ってきました。当日は天候にも恵まれ、名物の枝垂れ桜もちょうど見ごろで思いっきり春を満喫してきました。

動き出した「障害者総合支援法」

～総合支援法で何が変わるか？大きな制度の変革期～

平成25年4月1日より

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(略称「障害者総合支援法」)が施行されています。

障害者施策は平成15年に利用契約性を導入した支援費制度に移行し、平成16年には「障害福祉のグランドデザイン」が打ち出され、その具体化として平成18年度から「自立支援法」が施行されることとなりました。

障害者福祉サービス提供システムは、

【措置制度→支援費制度→自立支援法→総合支援法】

と大きな制度転換が連続しました。

繰り返された制度変更の効果はいかなるものか？

制度が変わるたびに、福祉現場は混乱でしたが、障害者本人が安定した福祉サービスが受けられる様にその質の向上を期待したいと思います。

管理者 松原 正子

総合福祉法による主な改正点

	自立支援法	➡	総合支援法
名 称	自立支援法 (～H25.3)	➡	総合支援法(H24.4～)
基 本 理 念			H23.6障害者基本法改正の理念
障害の範囲	身体・知的・精神 (発達を含む)	➡	新たに130疾患の難病を追加
区 分	障害程度区分	➡	(予)平成26年度から障害支援区分に移行
サービスの利用について	自立支援法の支給手続きを継承 (利用者負担や手続きの変更は無し)		
自 立 支 援 給 付			・重度訪問介護の対象拡大 ・ケアホーム、グループホームの一元化 ・地域移行支援の対象拡大
地 域 生 活 支 援 事 業			・障害者への理解、啓発事業、手話通訳者等養成事業の追加

地域との絆

三溪小学校清掃ボランティア



ウインドヒルとケアホーム風見の家の利用者が、毎月1回三溪小学校へ清掃ボランティアに参加しています。障害があってもそれぞれの能力をフルに活用し、人のために、地域のために働くことができます。

三谷町クリーン作戦



3月3日、地元三谷町のクリーン作戦にウインドヒルとケアホーム風見の家の利用者や保護者、職員が参加しました。早朝から地元の人たちと力を合わせ、自分たちが暮らしている地域のゴミ拾いや清掃活動を行いました。

『七転び八起きな日常』

社会福祉法人ポム・ド・パンは地元の方やボランティアさんなどたくさんの人のご理解とご協力によって支えられています。たくさんの人たちの温かいお力添えがあり、利用者はゆっくりではありますが、着実に前に向かって成長しています。その成長は決して右肩上がりの直線のような成長ではなく、どちらかといえば良い時もあればそうでない時もあり、折れ線に近い成長です。日々変化する利用者の様子にため息が出る日もあれば、驚き喜ぶ日もあります。

今回、日頃から当法人に携わっていただいている方から温かなメッセージを頂きましたのでご覧ください。

保護者からのコメント

「息子の成長」

ウインドヒル保護者

ウインドヒルに入所した当時の息子は、問題行動を数えきれないほど持ったとてつもなく手のかかる利用者だったと思います。例えば、ほんのちょっとした「待つ」という事ができず、所構わず頭突き。窓ガラスを何枚も割りました。当時の支援員はほとんどの方が頭突きの被害者になったようです。

ところが、最近では待たなければいけない状況では、長時間待てるようになりました。たとえ眉間にしわを寄せながらも、我慢ができるようになったのです。かつて、できないと思い込んでいた事がひとつまたひとつとできるようになっていく姿は、それがほんの些細な事でも、本当にうれしく幸せな気持ちになります。どんなに障がいが高くても、周りの人達の関わり(支援)の中で成長し続ける事ができる、その可能性があると思えるようになりました。

ウインドヒルで、家庭で、これからも息子の変化(成長)を見続けるために親も頑張らなければと思います。

「感謝」

ウインドヒル保護者

現在30歳の息子は、幼少時より多動で24時間目離し出来ない状態でした。当施設に入所後、数年はまだまだ周囲に迷惑をかけることも多く、私達家族は先の見えない不安を抱えておりました。でも2～3年前から、ほっと一息つける時間が増えてきたのを感じています。家と施設との生活のリズムが、息子に合っているのだと思います。施設で参加するさまざまな経験、帰省の楽しみ、この穏やかな時間を私達にくれた息子に感謝。そしてこんな息子に成長させて下さった施設の方々に感謝です。

作業面から職員コメント

「利用者と過ごした時間を「作業」から振り返る」

副管理者 鈴木 克幸

当初から「利用者の一人一人が社会に貢献できる「社会人」として」「責任をもった作業ができるようになること」を信じて支援することが大切と教えられてきました。

「焦らず、無理をせず、しかし決して妥協せず、あきらめずにコツコツと」

継続して関わる中で、少しずつそれぞれのペースで成長する利用者の姿を見せていただきました。

利用者で過ごす時間も、もうすぐ10年の月日が経とうとしています。

初めてかかわった頃に教えていただいたことを思い出し、一つずつ丁寧な支援をしていきたいと思っております。

重度棟から職員コメント

「朝起きたら着替えて顔を洗う」

重度主任 竹内 俊介

普段の生活の中で本当に当たり前の何気ない事からのスタートだったような気がします。衣類に強いこだわりがあり、自分が納得するまで何時間でも服の着脱を繰り返す人、真夏でもTシャツを何枚も重ね着している人、全裸でリビングに出てくる人、本来なら幼少期に身につけておくべき生活習慣が確立していなかった為、毎朝慌ただしい毎日でした。朝食時間を過ぎてても全員が揃わず、9:00頃から朝食が始まるという事も珍しくありませんでした。

私が重度棟の担当をさせていただいてから5年目となりましたが、今では起床すると前日の就寝前に準備した衣類に着替えてタオルを持って洗面所に行き、顔を洗う事が少しずつ出来るようになってきました。

しかし逆を言えば、私たちには何でもないと思われる事を5年かけて支援し続けてもまだ確立はしていません。まだまだ先は長いようです。

療育プログラム講師の方からのコメント



「音楽リズム」

池下先生

8年が過ぎた音楽交流を振り返ると、出会った頃、音楽を拒否、無表情で座っているだけのメンバーもいました。そんな彼らの好みの音、音楽を探りながら関わってきました。そして「仲間と一緒に楽しめる場」をめざしました。今では仲間の影響を受け、発声の増加、笑顔の表出、新たなリズムの獲得など、音楽を通して自己の感情や思いを表現することができるようになりました。今後も豊かで幸せな施設生活につながるよう、音楽で寄り添っていきたいです。



「フレッシュクラブ」

小野川先生

私たち三谷リフレッシュクラブとウインドヒルとの最初の交流は、4年前の水仙ロードからです。当初は、自閉症の方々との接し方に不安もありましたが、交流が続くにつれてお互いが一緒に成長し、自然な形でコミュニケーションを取ることができています。

今後も、様々な形で交流を楽しみにしています。



「三木先生と歌おう」

三木先生

ウインドヒルに毎月1回お邪魔するようになって、早いもので8年目を迎えました。最初はみなさん「歌わされている」「音楽に懸命についてきている」といった印象でした。8年経った今では自由に歌い、表現したり、リズムを感じたりと一人ひとりが様々な楽しみ方を見つけて楽しんでくださっています。

実はそれが「音楽」の根本であり、「生活」のエッセンスではないかなと思います。



「リズムダンス」

社交ダンス講師 横井先生

昨年4月より、主人と共に月2回リズムダンスの講習をしています。最初は何が始まるのだろうと言った雰囲気でした。共に音楽を聴き踊る事で距離が縮まり興味も出てきて、隠された能力、感性を発揮、驚きの連続です。ラジオ体操では直立不動の人が新しいステップを1番先に上手に踊ったり等々。最近は全員積極的に手を上げ前に出て来ます。楽しく踊る姿に励まされ、いやされます。今年は地域の集いで披露することを目標に頑張っています。



「水上さんと何かを作ろう」

水上先生

開所当初から創作活動や調理に関わっています。開所当初の利用者の様子はメンバー自身も何をしてよいか分からず、活動に参加できない、その場に居れないなど本当に大変でした。

それから9年が経ち、メンバー自身が何を理解できるようになり、活動にも参加し集中できるようになりました。出来上がった時にはその顔に達成感が感じられるほどです。

これからはそれぞれのメンバーが持っている内面をもっともっと活動を通して表現してもらいたいと思っています。

ポム・ド・パンの理念

障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。

障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。

障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。

障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

職員コーナー

「作業を通して思うこと」

平成22年1月から作業指導員としてウインドヒルで働き早2年5か月が過ぎました。

障害者施設で働くのも初めてであり、最初はどちらによいか、何からやり始めたらいいかわからず周りの職員に聞いたり助言やアドバイスをもらいながら、やっとここまでたどり着きました。

利用者一人一人の特性やこだわりを理解し、その日の健康状態などを考えて作業を進めていき新しい作業が入れば職員同士が利用者の立場になって事前準備をし、正確に間違いなくできる方法や意欲的に取り組めるように考えて支援しています。

当日の作業内容も館内放送をして利用者自身が自分は今日この作業をするんだと理解し、作業棟に集合したら全利用者・職員で再度作業内容の周知を行い全員がもう一度理解して作業に取り組んでいます。

作業は主に施設内の農耕・環境整備作業と外部企業からの請負作業を行っています。

特に請負作業は納期や正確・品質（衛生面）を問われますが、利用者の作業の正確さやスピードは日増しに向上しています。

納期に間に合わないと予測したら作業を延長したりレクレーションを延期して対応しています。

本年度から新しい作業にもチャレンジして一つでも多くの作業ができ、一人でも多くの利用者が参加できるように支援しています。

作業を通して利用者も社会の一員として少しでも社会貢献し、社会との絆を持ち続けて欲しいと思います。

ただ社会では甘えは許されません、それを利用者に理解してもらい作業に取り組むようにしていますので時には厳しく指示や指導をしていますが、これは愛の鞭と理解してください。

これからも保護者の皆様、後援会の皆様、地域住民の皆様のご理解とご協力を得ながら利用者が社会の一員として働く喜びと心豊かな人生が送れるように支援していききたいと思います。

松尾 能之

研修報告

- 1月29日、30日 平成24年度香川県民間児・者福祉施設振興会県外施設視察研修
広島県の社会福祉法人六方学園を見学しました。

虐待防止研修を行っています

ウインドヒルでは毎月1回以上、職員に対して虐待防止研修を行っています。その研修を通して職員自ら『職員行動規範』や『現場での心構え十か条』を制定し、現場支援に生かしています。

救命講習を行いました

5月21・28・29日の3日間、高松市消防防災課から3名の応急手当指導員の方に心肺蘇生術やAEDの使用方法、軌道内異物の除去方法など教えていただきました。実習に臨む職員の姿は真剣そのものであり、緊迫した空気の中で行われました。



見学に来られました

- 2月28日 徳島県自閉症協会の皆さまが見学に来られました。

ウインドヒルが行っている生活支援（1ユニット9名のユニット制など）や作業棟での作業支援などを見ていただきました。その他ウインドヒルの取り組みについて多岐に及ぶ質問がありました。



～暖かなお気持ち～



ポム・ド・パン後援会様から
フライングディスクセット
をいただきました。



ポム・ド・パン後援会様から
テント3基をいただきました。

ありがとうございました

平井奉仕団様より寄付をいただきました。

株式会社橋輝様から作業用の手袋をいただきました。

地元の方よりお米をいただきました。

今後ともよろしくお願いします

ボランティアを 募集しています

農作業や環境整備（草抜き、剪定、園芸など）に携わるボランティアを募集しています。

お時間のある方は是非ご協力お願い致します。

先日、施設内の草抜きや木の剪定をシルバー人材センターの方に依頼しました。

『職員のワンコイン運動から善意の寄付を継続しています』

- ①昨年から引き続き、日本財団東日本大震災義援金に88,973円寄付致しました。
 - ②ナイスハートふれあいのスポーツ広場の賛助会員になり30,000円寄付致しました。
- なお、赤い羽根共同募金運動も行っています。

保護者会コーナー

「9年目。」

ウインドヒルの山の緑がいっ
そう濃くなり、山笑う季節
から山滴る季節へと変わろ
うとしています。この風景を
目にするのも早9回目です。
子供は春夏秋冬その時々
を肌で感じつつ、この間、施設
で様々な経験を積んできま
した。そして今、少しずつで
すが、でも確実に成長して
いると感じています。
“継続は力なり”を30才目
前のわが子を見て、今更なが
らに実感しています。（何か
と大変な子です。…関わり
てくださっている職員の方々
には頭の下がる想いです。
日々ますます元気な子供
に比べ、親は体の衰えを隠せ
ない状態です。年齢には勝て
ませんが、“気”だけは若く
…子供の“笑顔”を糧に少し
がんばってみますか!!
これから何かお手伝い出
来ればとほんとは微力です
が、思っていますので、よろし
くお願いします。

田岡 恭子

お 願 い

現在ウインドヒルでは利用者の作業が減少してきています。利用者の方たちはそれぞれの能力を活かし、様々なスキルを身に付けてきました。軽作業や農作業、清掃活動など利用者に出来そうなことがあればご一報ください。

編 集 後 記

東日本大震災からはや2年が経過しました。ウインドヒルでは日本財団東日本大震災義援金の募金活動を行っています。また地域の小学校の清掃ボランティア活動や地域行事にも積極的に参加しています。

福祉施設の『施す』という字には恵まれない人に物質的な援助を与える。あわれみの気持ちで、人が困っている状態を助けるような行為を行うという意味があります。元来福祉施設とは障害を持っている人たちを一か所に集め、健常者が障害を持った人を『施す』場所でした。しかし時代が変わり現代では福祉施設の在り方や役割も大きく変わりました。

ポム・ド・パンは例え障害あっても潜在能力を十分に引き出し、地域の中で、地域の人と共に暮らしていき、地域社会と共助の関係が結べる福祉施設を目指しています。



メリー♀(年齢非公開)
2006年12月にウインドヒルに
来ました。



モモ♀
2006年1月生まれ

「ポム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼっくりは、松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に育まれ、また、次の命を生み出していきます。一年中緑の葉をつけ、砂地でも荒地でもしっかりと根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム・ド・パン」も強く・たくましく・大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

(敬称略・順不同)

◆個人会員 平成24年度 平成25年 1月1日～平成25年 3月31日

徳永 国広 大垣 博信

◆個人会員 平成25年度 平成25年 4月1日～平成25年 4月30日

河北 豊	三好美千代	保本ふさ枝	宮崎 成	三好 勉	三好 智子	松下 静江	松原 廣
松原 正子	堀 仁美	和田 龍兵	福岡 亨子	鎌田 泰明	和田 則昭	和田 真由美	松尾 能之
寒川 妙子	藤岡 幸弘	坂本 厚子	吉村繁三郎	宮崎 昭子	佐光 昭二	井上 隆子	黒嶋 正子
村尾スミ子	藤田 和代	近藤 勝	二條 忠義	竹田 美香	秋山 智	松本 建男	後藤見知子
大町 幸子	山本 信二	深井 一恵	増田 泰子	藤田 共子	浅岡加寿子	村山 昌	藤本 正
大宅 秀美	遠藤 能成	鈴木 克幸	鈴木 裕子	鈴木幸太朗	鈴木裕太郎	鈴木 幸市	金川 謙二
金川 恵子	金川 大介	竹田 俊夫	大内知代美	石本 寛文	猪塚 和子	鶴見 翼	鶴見 弘子
和泉久美子	桑田 悦子	宮崎 歩	青井 美彦	三木 隆文	三木 スミ	今滝 知子	田中 輝明
松岡 正博	中井 義昭	福岡 茂雄	瀬谷 之人	藤沢由美子	安藤 敏典	真鍋 幸恵	岡 康弘
三谷 善則	田中まち子	三好喜久子	石元 信子	大橋 光政	大橋美由紀	坂口 麗子	小山 敦弘
山本 斐	岩部 雅人	大熊 弘子	遠藤 定則	中山 節子	北條美代子	三好 悦子	塩本 洋子
伊賀 宏文	富田 ト工	竹内 俊介	高木 春美	三好 紀子	湯浅美智子	豊島 純子	中野真貴子
元木 康之	黒田 寛子	高山 照子	松木知恵子	森永 政子	猪塚 正章	新名 義隆	新名 義弘
安西 秀雄	安西 政美	宮宇地 峻	額田 良子	横田 忠	安藤 利政	田中トシ子	田中久美子
田中 茂行	田中 真弓	片桐 泉	片桐 正晶	幸田加津子	計野浩一郎	横井 和子	横井 孝司
清水 芳子	愛川 幸子	吉田 竜平	中川 英世	内園 昭一	藤田 容三	藤田美代子	藤田 洋志
畠山 一夫	畠山 進	伊豆野美代子	松川 愛子	白川 勉	木内 茂巳	谷川 博彰	谷川 桂子
谷川 聡	田岡 博雄	近藤 文男	近藤 豊子	近藤 香織	竹野内政子	植原 静夫	山縣 尚昭
松下 綾子	松下 学	宮武 宏	宮武 孝宏	杉崎 行香	川井 浩三	小坂 恵	安田 美佳
松村 真美	安倍 晶子	鹿庭 慶子	藤岡 重朝	藤岡ツヤ子	藤岡 正温	松木 珠子	大矢三千代
樽谷 学	福田 宣央	高嶋 一頼	朝日 光顕	朝日 由紀	安原 真理	安原 依子	前田 浩子
山本 勝博	吉坂 夕子	福本 一裕	磯部 康子	土居 悦子	三木 隆司	岡内 俊雄	小川 直美
松原 馨	橋本 弘恵	山下真理子	池内 恭子				

◆団体会員 平成25年度 平成25年 4月1日～平成25年 4月30日

大成段ボール(株) (株)ウェイ企画 (有)久間薬局 (株)トミタ いずみ内科医院 (株)遠藤米穀酒店 (株)ミネック
 (株)百十四銀行空港口支店 (株)一陽パックス (株)合田工務店 ツツミ医院 (株)たまも (有)香南鉄筋
 アキ・ダンススタジオ (株)ムーミー JR四国 (株)生コン輸送 (有)高島産業 (有)雄興業

平成25年 1月1日～平成25年 4月30日現在、以上の方々に継続及び新規ご入会いただきました。

5月1日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させていただきます。

本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とケアホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、多くの方々のご支援が是非とも必要なのです。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

年会費 個人会員 一口 3,000円 団体会員 一口 10,000円

ご入金方法 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

ウインドヒル「地域交流棟」を利用しませんか

100名程度の研修会などに使用できます。スポーツにも…。卓球台を備えています。ダンス、舞踏や音楽練習などに使用できます。利用料は無料。エアコン利用の時のみ、光熱費として1時間につき500円必要となります。

問合先：障害者支援施設ウインドヒル TEL：087-888-4277 050-3734-6707



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページをリニューアルしました！！

当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。

スマートフォンでは右のQRコードから読み取れます。

アドレス：http://www.pomme-de-pin.or.jp/



社会福祉法人ポム・ド・パン